

## 県北地域感染症情報レター(H28年度第10号)

「県北地域感染症情報レター」に関する御意見、御質問等につきましてはメールにて返信くださるようお願いいたします。  
 県北保健福祉事務所生活衛生部医療薬事課 メールアドレス hofukunet\_kenpoku@pref.fukushima.lg.jp

## 感染症発生動向調査 週報 ! 県北地域情報! (1月18日発表)

☆インフルエンザが県内全域で流行しています! 今年はA型インフルエンザの患者が多くなっています。  
 ☆感染性胃腸炎の患者報告数は2016年第50週から減少傾向でしたが、2017年第2週に増加がみられました。例年1月以降も流行が続くため、注意が必要です。

## 感染性胃腸炎(ノロウイルス等)にご注意ください!

## ○感染性胃腸炎とは

主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎のことで、原因となるウイルスは「ノロウイルス」「ロタウイルス」「アデノウイルス」などがあり、ノロウイルスによるものが過半数を占めます。主な症状は腹痛、下痢、嘔吐、発熱です。

## ○ノロウイルスの特徴

- ・例年、11月～1月頃に流行のピークを迎え、3月頃まで発生が続きます。今年はGⅡ型が流行しています。
- ・潜伏期間は1～2日、症状が治まっても2週間～1ヶ月程度、便中に少量のウイルスが排出されることがあります。
- ・感染力が強く、患者のごく少量の糞便、吐物に大量のウイルスが含まれているため、集団感染の原因となります。
- ・ウイルスに汚染された飲食物(特にカキの二枚貝など)により食中毒を起こすこともあります。
- ・ウイルスに対するワクチンや抗ウイルス薬はないため、**予防が重要となります。**

## ○予防のポイント

## こまめな手洗い

- ・排便後や調理・食事の前には、その都度**流水と石鹸**で十分に手を洗いましょう。
- ・汚れの残りやすいところ(指先、指の間、爪の間など)に注意しましょう。

## 食器類などの消毒

- ・感染者が使用した物や汚染されたものは、他の物と分けて洗浄・消毒します。
- ・食器類、衣類やドアノブなども塩素消毒液で消毒します。
- ・消毒には、**200ppm(0.02%)の塩素消毒液**が適しています。
- ・85度以上1分間以上の熱水洗濯、高温乾燥機なども効果的です。

## 嘔吐物などの処理

- 患者の嘔吐物などは、以下の方法で速やかに処理しましょう。ノロウイルスは乾燥すると、空中を漂い空気感染の原因となります。
- ・使い捨てのマスク、手袋、ガウンを着用します。
- ・塩素消毒液で浸したペーパータオルなどで静かに拭き取り、床も塩素消毒液で消毒します。
- ・嘔吐物や使用した手袋などは、ビニール袋に密閉し、感染性廃棄物として処理します。
- ・嘔吐物処理には、**1000ppm(0.1%)の塩素消毒液**が適しています。

## インフルエンザが流行しています!

○福島県のインフルエンザは、2016年第51週(12/19～12/25)に1地点あたりの患者報告数が注意報レベルとなる10.00を超えました。主にA型インフルエンザが多くなっています。

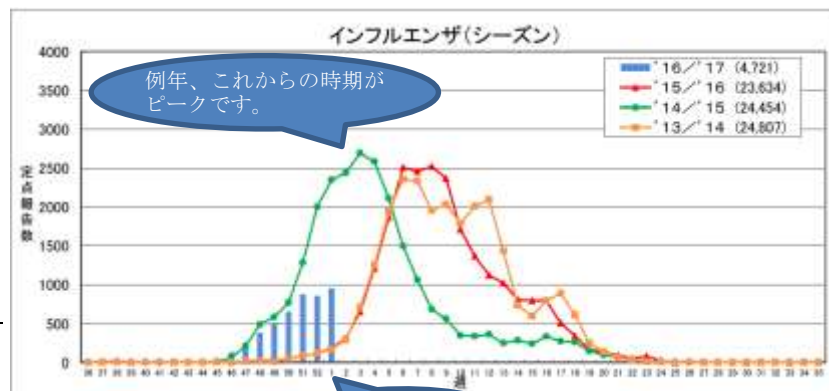
○インフルエンザの主な症状は、38度以上の発熱や筋肉痛、関節痛などの全身症状が特徴的です。

○子供や高齢者など、免疫力の低下している人では重症化し肺炎や脳症を発症することがあるため、**早期受診、早期発見が重要**です。

## ○予防について

- ・ワクチン接種…インフルエンザワクチンは、感染や発症を完全に防ぐことはできませんが、重症化や合併症の防止に有効とされています。13歳未満の場合は、4週間おいて2回接種が必要です。
- ・咳チケット
- ・手洗い、うがい

☆医療機関や高齢者施設などで患者が発生した場合は、速やかに患者の隔離・ゾーニング、同室者や他接触者に対する抗インフルエンザ薬の予防投与などの対応を行い、感染拡大に努めてください。必要時は保健所へも報告し、対応について協議してください。(参考:社団法人日本感染症学会提言 2012～インフルエンザ病院内感染対策の考え方について～(高齢者施設を含めて))



1月2日～8日